

男子決勝 興南-那覇西 マークされながらも高い打点でロングシュートを放つ興南の石嶺秀主将(2日)、具志頭社会体育館



# 興南(男子) 浦添(女子) 制す

## 県高校新人体育大会

県高校新人大会のハンドボール競技は2日、八重瀬 女決勝までを行い、男子は

興南が26-25で那覇西を振り切り、11年連続31回目の優勝を果たした。女子の決勝は浦添が29-15で那覇西に快勝し、2年ぶり9回目

## 残り3秒 11連覇達成

### 興南 慶田花、絶好機見逃さず

後半29分29秒、興南は伊禮雅太が下手投げからの強烈なステップシュートで25-24と勝ち越した。残り26秒、那覇西がタイムを取る。試合再開直後、那覇西はGKを下げてフィールドプレーヤー7人の攻撃へ。数的有利で得た興南守備のズレに那覇西の司令塔・洩鎌魁斗が飛び込み、同点ゴール。残り8秒となり、延

### 焦点

ボールを投げ込みんだ。残り3秒、勝敗が決した。序盤は横一線守備を展開したが、攻撃枚数の多い那覇西のパワープレーをしの

手が退場した隙を逃さず、同点に追い付き、最後の大接戦を乗り切った。決勝点を決めた慶田花は「照屋(喜隆)コーチの『気持ちは熱く頭は冷静に』の言葉を忘れず、最後まで攻めようとした結果、誰もいないゴールを見逃さなかった」と喜んだ。主将の石嶺秀は「3-2-1守備は声掛けて守れた時間帯もあつたが、シュートコースの絞り込みも不完全だった。横一線守備も攻撃もさらに鍛え、全国を目指す」と課題修

ハンドボール (具志頭社会体育館)

▽決勝

興南	26	1412
那覇西	25	1213

▽3位決定戦

浦添	29	1316
那覇西	15	823

▽3位決定戦

コサ	26	1214
知念	24	1212



11年連続31回目の優勝を決めた男子興南の選手ら



2年ぶり9回目の優勝を果たした女子浦添の選手ら

佐平牧生監督は「皆が守って走り続けた。新チームはバランスが取れている。今後はプレーの精度を高めた」と満足げだった。「相手を歩かす」守備が機能し主導権を握った。オプショナルのバックプレーヤーをけん制しつつ、仕掛けた。九州や全国で通用するチームになるため、守備をさらに強化したい」と意気

浦添女子主将 浦添清香主将は「皆が守備への意識を強く持っていた。九州や全国で通用するチームになるため、守備をさらに強化したい」と意気

女子決勝 浦添-那覇西 連係守備で相手に重圧を掛ける浦添の選手ら(2日)、具志頭社会体育館